



最下部B3への転落 突然の逆境からの挑戦

5月13日、B2プレーオフ準決勝でF.E名古屋を下し、ファンとチームが待ち望んだリーグ最高位のB1クラスへの昇格を決めたプロバスケットボールチーム「ライジングゼファ―福岡」。その歓喜の輪の中心に、福智町出身の石谷聡選手
の姿がありました。最古参メンバーとして、長年チームを支え続けてきた石谷選手。戦い抜いたシーズンを振り返り、「最大の目標を達成できた」と胸をなでおろしました。

チームが所属する「Bリーグ」は「NB1」と「B1リーグ」の2つが統合し平成28年から始まった新しいプロリーグ。1部を最上位とした3部制で、全国45チームが毎年上位のリーグを目指して厳しい戦いを繰り返しています。石谷選手が所属するライジングゼファ―福岡は「B1リーグ」時代、優勝争いにも加わる強豪チームでした。しかし2年前の「B1リーグ」統合時に、経営の不安定さを懸念され、アマチュアとプロチームが混在する最下位のB3クラスへの振り分けが決定。しかしチームはその悔しさをバネに、逆境を跳ね返す勝利を重ね、B3リーグ優勝を決めて昇格が決



石谷聡

【特集2 最高峰の舞台へ】

より高い目標に向かって。

最下部リーグから、最短の2年で最高位のB1リーグへ昇格。その躍進を支えたチームの最古参メンバー・石谷聡選手。厳しい世界の第一線で活躍を続ける軌跡をご紹介します。

PG
Satoshi Ishitani

撮影：佐々木啓次

定。B2リーグでスタートした今期も、8割近い勝率の圧倒的強さで地区1位。その後の各地区代表によるプレーオフも制し、リーグ優勝を達成しました。ついに、目標としていたトップリーグへの参戦へ2年という最短で駆け上がったのです。

石谷聡



Satoshi Ishitani

177cm / 73kg / ポイントガード
福智町伊方出身。幼少時から競技に親しみ、学生時代輝かしい実績を挙げて大学卒業後にプロ入り。ハンドリング・パス・ドリブルなど高い技術を武器にチームを支える司令塔。



撮影：佐々木啓次

苦境のチームを支えた 強い心身と献身的プレー

今期47勝13敗と期待に応える安定した戦いを見せたライジング。しかしその道のりは戦績以上に厳

しいものでした。主力選手の故障が相次ぎ、けが人がいない時期がシーズンを通してない状況。その中で石谷選手は2年連続の全試合出場を果たし、チームを支え続けました。身長177センチとプロ



↑リーグ参戦時から掲げ続けた目標のB1昇格を達成した瞬間、会場は歓喜に包まれた。(撮影：佐々木啓次)

選手としては小柄な体格。しかし「大柄な選手に当たり負けないように、体作りには人一倍気を使います」との言葉通り、食事やサプリメントにも気を配り、練習後の自主トレーニングを欠かささないことで、33歳を迎えた今もけがの少ない、強い肉体を維持しています。「足りないものを補うには何かが必要。自分の持ち味はディフェンスと運動量」と語った石谷選手。試合では広い視野で周囲の状況を把握し、味方を生かすプレーと絶えずコートを走る守備でチームに貢献。またコーチや監督の指示や考えを理解し、それを試合に反映させるなど常にチームの勝利を優先してきました。